

南丹市立障害者支援施設運営  
委員会  
議 事 録

南丹市立障害者支援施設運営委員会事務局  
(南丹市福祉保健部社会福祉課)

令和4年度第2回南丹市立障害者支援施設運営委員会議事録

1. 招集年月日 令和4年11月15日（火）
2. 開催年月日 令和4年12月16日（金）午後2時～午後3時
3. 開催場所 南丹市役所八木支所 3階 防災ルーム
4. 委員の総数及び出席者数並びにその氏名
  - (1) 委員の総数 15名
  - (2) 出席者数 12名
  - (3) 出席した委員の氏名（敬称略）

| 役職   | 氏名     | 選出区分      | 出欠  | 備考 |
|------|--------|-----------|-----|----|
| 委員長  | 塩貝 潔子  | 社会福祉関係者   | ○   |    |
| 副委員長 | 中川 剛   | 社会福祉関係者   | ×   |    |
| 委員   | 平井 喜代子 | 障害福祉関係者   | ○   |    |
| 委員   | 船越 昭   | 障害福祉関係者   | ×   |    |
| 委員   | 塩貝 範子  | 障害福祉関係者   | ○   |    |
| 委員   | 宅間 由美  | 障害福祉関係者   | ○   |    |
| 委員   | 谷口 和隆  | 社会福祉関係者   | ○   |    |
| 委員   | 湯浅 宗一  | 社会福祉関係者   | ○   |    |
| 委員   | 奥村 史代  | 障害福祉関係者   | ○   |    |
| 委員   | 宇野 弘一  | 障害福祉関係者   | ○   |    |
| 委員   | 平家 佐織  | 事業利用者家族の会 | ○   |    |
| 委員   | 湯浅 徳子  | 事業利用者家族の会 | ×   |    |
| 委員   | 山内 正   | 学識経験者     | ○   |    |
| 委員   | 井尻 治   | 学識経験者     | ○   |    |
| 委員   | 山下 秋則  | 市議会議員     | ○   |    |
| 合計   | 15名    |           | 12名 |    |

5. 傍聴者数 0名

6. 議事の経過の要領及び議事別の議事事項

|            |  |
|------------|--|
| <p>司 会</p> | <p>ただ今から南丹市立障害者支援施設運営委員会を開会させていただきます。</p> <p>司会を務めさせていただく南丹市社会福祉課 課長の奥村でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>この委員会は、南丹市立障害者支援施設条例に基づき設置するものでございます。</p> <p>本日は、15人の委員のうち、12人に出席いただいております。</p> <p>南丹市立障害者支援施設条例第11条第2項に定める過半数以上の出席となっておりますので、本委員会は成立していることをご報告いたします。</p> <p>続いて、委員の交代について報告いたします。これまで坪井秀粹さんに日吉地区の委員としてお世話になっておりましたが、南丹市民生児童委員協議会の役員改選により、本委員会委員を交代されましたので報告いたします。</p> <p>また、新たに日吉町民生児童委員協議会副会長の湯浅宗一さんに委員としてお世話になることとなりました。ここで、委嘱状の交付をさせていただきますが、本日は代理として矢田部長より委嘱状を交付させていただきます。</p> |
|            | <p>(委嘱状交付)</p>   |
| <p>司 会</p> | <p>令和6年3月31日までお世話になりますがよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、塩貝委員長より開会のご挨拶をいただきます。</p> <p>塩貝委員長、よろしくお願いいたします。</p>  |
| <p>委員長</p> | <p>本日は年末の大変お忙しい中、委員の皆様にはお繰り合わせご出席をいただきましてありがとうございます。12月も中旬になりまして本当に朝夕は寒くなってまいりました。私も胡麻に住んでいますが、毎朝カーテンを開けるたびに雪がちらついていないかちょっと心配しながら生活しています。またこの冬にはコロナウイルスとインフルエンザのダブル感染が予想されるということで、本当に心配ですがそれぞれ委員の皆様も感染対策を十分にされていると思います。温かくして年末年始を過ごしていただけたらと思います。</p> <p>この委員会につきましては年2回開催させていただいて、前回は6月に開催しました。6月の開催の時には冬場にコロナウイルスのオミクロン株が言われた頃だったかと思いますが、その影響もあって通所の自粛をしていただいたり、イベントや事業の中止など、それぞれの施設</p>   |

|     |  |
|-----|--|
| 委員長 | <p>にも影響が出ていると報告を受けていました。夏場はちょっとコロナウイルスが収まりつつあったのかなと思うような所もありましたが、それぞれの施設で対策していただきながらどのような運営をしていただいていたのか事務局の方から報告があると思いますので皆さんのご意見を伺いたいと思います。</p> <p>この後、小委員会の方で付託をされまして冬季の賞与の件も出てきますが、委員の皆様アイデアやご意見がそれぞれの施設の運営に反映されて、より良い運営が出来ていけばと考えていますのでどうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>簡単ではございますが開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。</p>   |
| 司 会 | <p>それでは議事に入らせていただきます。</p> <p>南丹市立障害者支援施設条例第11条第1項の規定により、塩貝委員長に議長をお世話になりますので、よろしくお願ひいたします。</p>  |
| 議 長 | <p>それでは議長を務めさせていただきますので、円滑な議事の進行に、ご協力をお願ひいたします。</p> <p>次第の「3. 報告事項 施設の運営状況について」に入ります。事務局より説明をお願いします。</p>   |
| 事務局 | <p>南丹市社会福祉協議会生活支援部の部長を務めさせていただいております新井と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>本日、南丹市社協の方からはあじさい園の施設長と出席させて頂いております。なお生活支援・障害福祉サービス課長の前田と、ひより舎施設長の福原は所用で欠席させて頂いております。</p> <p>では本日お手元に配布させて頂いております上半期事業報告（運営委員会資料—1）をご確認いただき、こちらに基づいて報告させていただきます。</p> <p>まず令和4年度上半期の報告という事で、あじさい園の方から報告させていただきます。</p> <p>4月から9月までのあじさい園の稼働率、いわゆる利用率をまとめております。利用定員は1日あたり35人の定員枠に対して月次で稼働率を出しております。現状ですが冒頭、委員長のご挨拶でもありましたように新型コロナウイルス感染症がかなり利用率にも影響しております、前年と比較して減少傾向にあったものと感じております。そうした状況は収支にも大きな影響を及ぼす結果となりまして、今後の運営・経営において一定の課題を残す結果だったと思います。</p> <p>一方で就労支援事業、いわゆる生産活動ですが、新たな委託事業として南丹市から八木駅の清掃を頂いておりますのと、記念品の受注・発注</p> |

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | <p>などもありましたが、やはりコロナの影響が長引いたこともありまして、収支としてはいい結果でしたがそれを維持継続していくという部分でかなり苦労があったと感じております。また新型コロナウイルス感染症の影響によって7月にあじさい園では2日間臨時休業しました。そうした中で職員の濃厚接触者や陽性者が出たことで職員が出勤できないという状況も発生し、職員の確保という面で非常に厳しい半年だったと感じています。</p> <p>課題としては、今後3年、5年、10年と先を見据えた経営・運営体制の確立には様々な視点から運営や業務プロセスなども見直していく必要があるのではと思っています。一方で施設の設備や備品の老朽化に伴う不具合も発生しておりますので、そうした部分においても計画的かつ状況に応じた迅速な対応が今後求められるかと思えます。実際にこの7月にホールのエアコンが非常に厳しい暑さの中で動かなくなったことがございまして、南丹市に緊急修繕工事を行っていただきましたが、そうした老朽化による不具合が今後も発生すると予測されます。</p> <p>次にひより舎ですが、こちらと同じように4月から9月までの稼働率をまとめております。稼働率や収支状況については前年の同月と比較しても大きな増減は無くほぼ横這い状況だったと思えます。一方で生産活動・就労支援事業についても大きな変化はみられませんでした。後ほど収支状況も説明しますが、やや物足りないような状況もありましたのでまだまだ上を目指していけると考えております。</p> <p>課題としては、全体の収入の増加と維持、事業の拡大など取り組むべきことがまだまだ多く残っております。一方でひより舎の方ですが、この委員会の中でもお伝えしておりましたが利用者が高齢化、重度化してきておりますのでそうした部分に対して丁寧に対応できる体制づくりというのも今後の課題の一つと考えております。</p> <p>下半期に向けて今後どういう取組みをしていくのかですが、持続可能な経営・運営体制の構築に向けて効果的な改善を進めていく必要があると思えます。一方で次年度に向けての課題の整理を各事業所の中でしっかり進めて、それに基づいて具体的かつ実現可能な計画と方針をこの下半期でしっかり打ち出していこうという事で各事業所と話しております。また各現場ではチームワークの向上に働きかけて、職員一人ひとりがやりがいとプロとしての誇りを高めていけるような人材育成を進めていくことも非常に重要と思っております。関係機関ともしっかり連携してサービスの質の向上にもしっかりと努めてまいりたいと思えます。</p> <p>最後に新型コロナウイルス感染症への影響と対応という事で簡単に下にまとめております。第7波の感染拡大に伴って、あじさい園・ひより</p> |
|-----|---|

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | <p>舎からも利用者や職員の感染や濃厚接触者が多数確認されました。現場は人員の調整や保健所等関係機関とのやり取りをしたり、あるいは他事業所とやり取りをしたりと対応に追われて毎日慌ただしい状況でありました。職員は日々自分たちがコロナに感染してしまうのではないかとという大きなリスクと向かい合う必要がありますので、その中での業務は肉体的にも精神的にも大きな負担がかかるような状況であったと感じています。今後コロナに対してどう対応していくかという事で、実際もう第8波が到来しているという事ですが、各事業所ではこれまで通り「持ち込まない・広げない・持ち出さない」を基本とする標準予防策を一層徹底していくという事に尽きるかと思えます。一方でこれまでの経験を活かして正確に状況判断して冷静に対応していくという事が大事だと考えております。</p> <p>続いて2枚目の資料2に移ります。こちらの方で2つの事業所の上半期の資金の流れといいますか経営状況を数字でまとめております。それぞれあじさい園・ひより舎とありますが、その中にさらにあじさい園、就労支援事業、全体とありますが、あじさい園はいわゆる生産活動・就労支援事業以外を除いた経営状況になります。真ん中の就労支援事業が今回のボーナス等にも関わる生産活動の収支状況、その2つを合わせたものが全体になります。</p> <p>注目頂きたいのは2段目にある正味収入合計・正味支出合計・収支差額という所で、ここは会計にはまだ反映されていない数字を加味した金額になりまして、実態を表している数字となります。あじさい園の運営でいきますと上半期の収支差額が約71万円の赤字であったという事になります。一方で生産活動については約79万円の黒字が出ています。全体で見ますと大体8万円くらいの黒字が出ていたとなります。</p> <p>ただ言い換えると、運営本体では赤字が出ているけども利用者さんが中心となっている生産活動は黒字ですので、トータルでは黒字ですけどもこれが健全かどうかはもう少し精査が必要かと思えます。この約71万円の赤字ですが、コロナによって利用率が安定せず、2日間の休止もあってこの数字ですので、この状況の中でよくこの数字で耐えられたと言い換えられるかと思えます。</p> <p>続いてひより舎ですが、運営の方は約65万円の黒字、生産活動は約29万円の黒字で全体では約94万円の黒字となりましたので厳しい状況の中でも比較的安定して経営されていたのかなと思えます。2施設を合わせると約100万円ほどの黒字でしたので比較的安定して運営できていると考えております。裏面にはそれぞれ月次での数字を掲載しておりますのでこちらもひとつ参考にいただければと思います。</p> |
|-----|---|

|     |  |
|-----|--|
| 事務局 | <p>次に資料3になりますがこちらは資料2の就労支援事業、例えばあじさい園は収支差額が約79万円と話しましたが、その差額の内訳が資料3に記載されています。あじさい園のクッキーの製造販売事業であれば4月からの売り上げが示されています。支出の方は利用者の工賃であったり物の材料費などの費用でそれを差し引いてトータルで約79万円の黒字となっています。この差額の合計がこの後ご提案させていただきますが、今回の冬季の利用者のボーナスのベースとなります。裏面はひより舎の資料となっております。</p> <p>説明は以上です。</p> |
| 委員長 | 事務局の説明に対して、ご意見やご質問はございませんか。  |
| A委員 | あじさい園の所で八木駅の清掃管理で9月に55万円となっておりますが、これは新規で受託された事業だと思います。何か月に1回としてこの金額になっているのでしょうか。   |
| 事務局 | 年間で110万円の受託料となっております。本年度から西口方面も拡大するという事で受託料を上げていただきました。今年度は2回に分けて請求させていただいて入金頂いております。相談させていただくことでそれ以上に分割することは可能です。ただ今年度は、あじさい園から2回でお願いしますと伝えております。   |
| A委員 | これは9月から受けたので年間110万円でも、今年度はこの金額しか入ってこないのですか。  |
| 事務局 | 4月1日から1年間受けております。前年度は東口を中心として作業していましたが今年度は西口にも場所を拡大していただいて年間110万円、半期で55万円の請求となっております。  |
| A委員 | あじさい園でもひより舎でも、この収支の赤字については毎月こうなるのが普通なのでしょうか。それともコロナ等の影響があって特に目立つようになったのでしょうか。  |
| 事務局 | <p>資料2の収支差額のそれぞれの経理区分の所で3つの大項目に分かれています。あじさい園ですと施設整備等・その他活動の部分でそれぞれ赤字が出ております。全体での正味収支差額は71万円となっております。</p> <p>これはあくまでも令和4年度の4月から9月までの間の収支状況になっております。ですので今後この数字が改善されることもありますし、コロナの状況ではさらに悪化する状況も想定出来ませんが、この資料に載っているのは上半期だけの数字になります。</p>                                 |
| A委員 | コロナによってこれだけの赤字が出たという事ですか。コロナ禍以前はこういう事はありませんでしたか。   |

|     |  |
|-----|--|
| 事務局 | <p>今回このあじさい園の運営の赤字について原因を分析しますと、恐らくはコロナによる利用率低下や休園による減収が一番の要因だと思っております。前年度や前々年度の収支状況は安定していたかというところではありません。去年は黒字が出ていましたが、それ以前は実は非常に厳しい経営状況でした。そこに関しては体制の変化やプロセス見直しなどをした結果、少し安定した今の状況を維持できるようになりました。ですのでコロナ禍以前は経営状況がずっと黒字だったかと言うところではなく、苦しい状況もありました。</p> |
| A委員 | <p>資料1の稼働率については現状として利用定員に対しての率と思いますが、これを向上させるために何か取り組む必要があるという事ですね。</p> <p>この利用定員ですけど、これは利用者さんとお金の動きがある人数ということでしょうか。</p>   |
| 事務局 | <p>稼働率と収入についてですが、いわゆる給付費になりますので1日利用いただいたらそれぞれの方で発生することになります。例えば20日利用いただいたら20日分の給付費が発生します。欠席されると予定の収入は入ってこないことになります。</p> <p>利用料に関しては上限金額もありますので、それに達していればいただきます。また一定の収入がなければご本人さんから頂くことはまずありません。飲食などの実費があれば別ですが。</p>                                    |
| A委員 | 稼働率は前年度比だと変わっていますか。  |
| 事務局 | <p>おおよそだと変わってはいません。定員は35人ですが実際あじさい園で契約しているのは31人ですので、実利用人数での考え方もできます。</p> <p>利用者が増えたとしてもそれに応じて仕事量も増えるというわけではありません。いずれ定員に達するだろうという考え方のもとそれに応じて活動の幅も広げていくとしています。</p>  |
| A委員 | この稼働率の計算は定員35人を分母として計算されているんですか。   |
| 事務局 | そうです。  |
| A委員 | 実際に契約されている方が31人だとすると、全員が参加されてもこの稼働率は100%に達しないのですね。   |
| 事務局 | 枠としては35人で更にもう少し余裕がある感じですが。今は31人ですので徐々に増えて35人で打ち止めになる形です。   |
| A委員 | 定員はそれぞれ決まっています、この稼働率はその定員を基にしている、あじさい園だと35人中70%の稼働率とっていました。実利用者の   |



|     |   |
|-----|---|
| A委員 | 31人を分母にした方が良いのではないですか。えらく稼働率が低いと思ったので。  |
| 事務局 | おっしゃる通りです。ただ一般的にはこの定員を基に稼働率を計算するようになっていきますので。実利用人数から考えるとこの稼働率は低く表されていることとなります。  |
| B委員 | <p>説明のあった稼働率について表の作り方として定員・実利用者、どちらを基にするかによって率が変わります。その表示の仕方によっていかに定員に達するように活動をするのかという事と、実利用者を分母とした時には稼働率をいかに上げるのか、あるいは下げないためにはとそれぞれによって課題が分かります。その辺りを資料を見てすぐ分かるように表示しておけば次のステップに進むための課題がハッキリすると思います。それを決め事に従って出したとなると課題が見えません。定員を満たすために工夫が必要なのか、休まず利用してもらうために工夫が必要なのか分かりづらくなるので今後その辺りの表示を工夫されてはどうかと思います。</p> <p>2点目は課題の所にも書いてありますが様々な視点から運営および業務プロセスを見直し検討するとありますが、これは非常に抽象的です。今こういう事が課題なのでいくつか他の課題があるけども今年度はこれを解消するために頑張る、今年度前半の頑張りの成果を基に後半はこれに取り組むとか、より具体的な課題設定であったり見直しを挙げていった方が分かりやすいし、目の前の目標に対しての取り組む意欲が湧きやすいかと思います。こう書かれると何を課題としているのか、何をしようとしているのかが分かりません。</p> <p>以前は具体的なことが書かれていたので大変そうだと思いますながらも達成のために頑張っていることが見えたと思うのですが、中間報告の段階でこれだけ書かれても周りとしては何を聞けばいいのか、何を頑張ってもらいたいと言えればいいのかが分かりません。この年度の始めにこういう事を目標としてこういう事を課題としました。半年間の取り組みでこれだけ進捗した、不足があります。そういう事が見えてきて初めて年度の全体的な姿が分かると思います。今回はこういう事でそれ以上進めないのかもしれないかもしれませんが、下半期に向けての課題について全く具体的な目標や課題が資料では分からないので、内部ではその辺りも整理されていると思いますので、お知らせしてもらえれば周りでも理解できて話がしやすくなると思います。感想めいてますが、この資料を見させてもらってそう感じました。</p> |
| 事務局 | 貴重なご意見ありがとうございます。まず最初にご指摘いただきました表の見方や表現についてですが、実際にこの表では法令に基づいて定   |

|     |  |
|-----|--|
| 事務局 | <p>員に対する稼働率ですので、ここは実際の契約者数に対しての利用率がどうだったのかという表も合わせて並べておく方がより実態や利用状況などが分かりやすいと思います。次回には改善して提示できるようにしたいと思います。</p> <p>課題の部分ですが実は私どもの方でも抽象的な表現だと感じていました。具体的に課題を表現できれば先ほど言っていたように困っている部分が皆さんにも理解しやすくなるかとは思いますが、現場もこの半年間、コロナの対応で日々追われる中で課題を感じられても、もう一步踏み込んで具体性を見出す過程までたどり着けていないのが現状でありました。下半期に向けては効果的な改善や課題の整理を行って、具体的かつ実現可能な計画や方針を打ち出し、問題解決するための取組みなどをそれぞれの施設の中で職員を中心に議論・検討していく必要があると感じています。</p>  |
| 事務局 | <p>今回の資料の書き方として、事業所を経営する観点の視点が強い資料になっている所に違和感を感じているかと思います。まず稼働率の定員ですが、南丹市としては毎年丹波支援学校から卒業される時に進路先としてあじさい園・ひより舎に枠を設けておかないと行く場所が無いと言われる方もいますので、定員いっぱい埋めて稼働率や事業の収支状況を向上させるという事はしにくいかと思います。国の補助金としてはどれだけの方が通われているか、昔だと登録者数に応じて金額が決まっていたのですが、今は利用された日数とか細かい条件があります。その中では各施設が年度ごとで経営されているので収支が合うようにして頂きたいのですが、市としては支援学校の卒業者の進路という課題もありますので、社会福祉協議会と改善のために協議をしていきたいと思っています。</p> <p>先ほどもエアコン修理の話がありましたが、南丹市で運営をお世話になるという事で、建物等の修繕は民間のB型事業所などと異なり全部市が予算を出しており、市が必要に応じて改修なども行っております。</p> <p>課題については4年度の事業計画の時には通所されている方に対してどう取り組んでいくかが多く書かれていましたが、今回は経営視点に大きく偏った表現になっていると思いました。次回からは市と社会福祉協議会と共にあじさい園・ひより舎に通われている方に対する支援について具体的に伝えられるような資料にしたいと思います。</p> <p>今回は分かりにくい資料としてご指摘を頂きましたので次回の改善に活かして頂きます。</p> |
| B委員 | <p>説明頂いた部分で、要は定員と実利用人数の差ですね。今の話であれば支援学校の生徒を受け入れる余裕のために差があるのは仕方がないという事だと思いますが、そうであるならば昨年か一昨年にあじさい園の</p>   |

|     |   |
|-----|---|
| B委員 | <p>定員を40人から35人に減らすという提案があつて大きな異論も出ないまま承認されたと思います。その時の市や社協の答えに私は納得してなくて決まった以上は仕方ないとしていますが、今の説明なら定員を40人にしておいて5人くらいの余裕枠を置いておいて実人数は35人として動かすこともできたのではと思います。あくまでも余裕人員を確保しておかないといけないという事ならそこに差がある訳ですから、それを今後どうするのか考え方の整理が必要だと思います。</p> <p>それと実人数を基にした稼働率を出した時に今はコロナが大きい理由となっていますが、この3年間その通りだと思いつつもこの稼働率の変化を実人数を基に見ていくことによって課題の見方が変わると思います。コロナが課題なのか、あるいは利用者の症状が軟化したのか、あるいは別の要素があつて外に出づらくなっているのか、利用されない理由を分析することによって施設側からどういう働きかけが必要なのかよりハッキリすると思います。私は民児協の立場で出席していますがコロナを理由としてはいけないとずっと言っています。小さな課題を見過ごしてしまいそうになる、それを言い訳にしてしまいそうになる。そうでない所を見ていこうという事で言っているのですが、その辺りで何を数字で表すのか定義づけをして何を基礎にして分析していくのか、もうちょっと整理して報告して頂いた方が聞いている方としては分かりやすいし、頑張ってもらっている部分も見えやすくなると思います。</p> |
| 事務局 | <p>一番最初の質問に出来るだけ稼働率を上げていく方が収入も増えるのではという事で、あじさい園やひより舎でそれぞれ勧誘して利用者の定員を埋めるというやり方はしないという事で誤解を与えてしまったかもしれません。</p> <p>まずあじさい園・ひより舎に行く必要があると計画相談の方等と話をする中で通所される方は決まるので、一概に定員の空きがあるから来てもらうという事ではありません。2つ目で言われたように次回からの資料については利用定員ではなく実際に利用登録されている方を基にして稼働率を出す方がその方が休んでいる理由が分かると思いますし、私の方が社会福祉課長を務めている時にちょうどコロナの影響が出だしたのですが、あじさい園には来られていないけども家で不安になっている人に対しては訪問してその方と話す中で様子を見ようという活動もしてもらっていました。その活動は国からの給付の対象ではありませんでしたが、そういう活動をしていたという報告もしてもらいました。その人ごとに合わせて来る契約にはなっているけれども来れないままの人もいましたので、国に報告する分は別としてこの委員会で上げてもらう数字は実際にあじさい園に来ると契約している人を基として分かるように改善</p>   |

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | <p>していきたいと思います。</p> <p>あじさい園の定員については国の補助基準について人数の基準もある中で、交付率等と実際に来られている方の現状を考える中で出来るだけ給付費の支給が効率的になるようにという考えがあったという事です。十分な説明が出来ていなかったかと思いますが、今後またあじさい園の施設の老朽化も進んでいる所がありますので、今後どうしていくのかという課題もあります。また、課題点については委員の皆様にも意見を聞かせて頂きながら、通所して頂いている方の支援に努めてまいります。</p>  |
| 委員長 | <p>今回の資料、事業報告にしましても前回の分も見ていたのですが、定員があつて稼働率だけでなく各月の利用者数も上がっていましたし、運営していく上で稼働率ばかり注視するのではなく毎月どのくらいの方が利用されているのかという動向についてもこの表の中に入れておいた方が良いと思います。その辺りについては何を基準として稼働率を出すのか、利用者数に対するものか定員に対するものか、そこは市とも相談した上で資料を作っていたらと思います。</p> <p>それと現状の課題についても現在それぞれの事業所の方でどういう状況の受託事業をしているのか、新規でどういうものを受けたか等具体的なものをもう少し書いてもらった方が委員の皆様も意見を出しやすいかと。課題は多くありますし運營業務やプロセスの見直しも大事だと思いますが、利用者の目線に立ったものも書いていただいた方が意見ももらいやすいと思います。</p> |
| A委員 | <p>資料1にありますようにコロナの影響と対応の部分で、今言われたように具体的なものを書いていただいた方が分かりやすいと思います。例えばここにある「持ち込まない・広げない・持ち出さない」という標準予防策3つですが、職員さんは大変ですし、基づいた行動や対策がすぐに出ると思います。もし職員さんでない人が読んだ場合にどういう対応をされるのか分からないと思います。多く並べる必要は無いと思いますが、分かりやすい例示を1つ2つ付けてもらえればと思います。</p>   |
| C委員 | <p>稼働率や収入も勿論大事ですが、本当に大事なのは安心・安全で利用してもらう事が基本だと思います。その為にも利用者の定員を減らすのも対応の一つとしていたと思います。確かに稼働率も大事ですけども1日1日を利用者さんが楽しく過ごしていただくという事が基本だと思いますので、収入や事業の面もありますけども、社会復帰のきっかけだとかコミュニケーションが出来るという事が利用者さんにとって何より嬉しい。言われている稼働率も大事ですけども休まれる事にはそれぞれ理由があると思います。たまたま体調が悪いとかそういう事はどこでもあ</p>  |

|     |   |
|-----|---|
| C委員 | <p>る話だと思えますし。それも含めてご検討いただけたらと思えます。</p>  |
| 委員長 | <p>貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>他にご意見やご質問はございませんか。小委員会の方でもご意見をいただければと思えます。</p> <p>それでは「3. 報告事項」については、終了いたします。</p> <p>続きまして「4. 小委員会付託事項」について、に入ります。</p> <p>今回の小委員会については、「八木障害者支援施設、日吉障害者支援施設の冬季賞与の配分」について協議いただきますので、よろしくお願ひします。</p> <p>続きまして「5. その他」に入ります。事務局から何かありますか。</p> |
| 事務局 | <p>特にありません</p>  |
| 委員長 | <p>委員の皆さまから何かありますか。</p> <p>それでは、特にないようですので、これで議長を降壇して、以後の議事進行を司会にお返ししたいと思います。</p> <p>議事進行にご協力いただき、ありがとうございました。</p>  |
| 司 会 | <p>塩貝委員長、円滑な議事進行、ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、南丹市立障害者支援施設運営委員会を閉会させていただきます。</p>   |